

プラズマ・核融合学会誌

第92巻第10号

2016年10月

解説	原子準位 X 線レーザーの現状と展望	米田 仁 紀	729
説	韓国における核融合工学研究の紹介		
口	小田 卓 司, HAN Jung-Hoon, HWANG Yong-Seok		735
講	画像再構成とパターン認識の数理		
座	1. プラズマのイメージング計測	大 舘 暁	741
	2. 画像再構成の数理的基礎	岩 間 尚 文, 大 舘 暁	743
	平成28年度プラズマ・核融合学会学会賞選考結果の報告		763
	Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		765
	インフォメーション		766
	幅広いアプローチ活動だより(63)		
	【会議報告】第15回 X 線レーザー国際会議(ICXRL 2016)／21st International Symposium on Heavy Ion Fusion (HIF2016)		
	【人事公募】		
	Plasma & Fusion Calendar		771
本	会 記 事		773
	第11回核融合エネルギー連合講演会報告／第11回核融合エネルギー連合講演会若手優秀発表賞選考結果の報告／「第55回プラズマ若手夏の学校」開催報告／プラズマ・核融合学会九州・沖縄・山口支部第20回支部大会		
編	集 後 記		

表紙の絵

陽子ビーム入射時の重水素プラズマを想定し、核弾性散乱により形成される重陽子速度分布関数上のノックオンテイルを観測するための手法を提示している。図は ITER 級重水素プラズマにエネルギー 200 keV, パワー 33 MW で入射された陽子の速度分布関数を示す。(a)はトロイダル軸方向, (b)は垂直方向に入射した場合の空間平均量 (v_0 は 60 keV 重陽子の速度)である。分布関数は磁場配位中の陽子の軌道計算に基づいて評価した。(Hideaki MATSUURA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.11, 1403105 (2016) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel:(03)3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。